

吉竹顕彰さん講演会報告



日時:平成 31 年 3 月 23 日(土)10:00~11:40



会場:メイトム宗像・多目的ホール



来場者:120 人



内容

『日本の四季と言葉～私の読書法～』
と題して、気象予報士である講師
吉竹顕彰さんにお話いただきました。

「天気予報の上手な使い方」

「旧暦と新暦の違い」

「二十四節気の由来」など、

日本の四季とそれに関わる豊かな

季節の言葉について、わかりやすく説明していただきました。

さらに、愛読書の中から短歌や俳句、詩などを読んで、季節の言葉がどのように使われているか解説され、気象の知識を持って文学作品に接すると、より理解が深まることを実感できる講演会となりました。



ご自身で撮影された写真を使って説明



来場者の声

「天気予報の見方・考え方を理論的に説明いただき、理解できました」

「季節の言葉の持つ深さや美しさが感じられました」

「紹介していただいた本を、心静かにじっくり味わいながら読みたいと思います」



たくさんの参加者が楽しめました



ニュース番組の裏話では笑い声があがりました